

# 協働事業評価シート（第三者用）

部課名	環境部 環境政策課	令和4年度
記入団体名	福原ファームクラブ	

予算事業名	環境基本計画推進事業	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	------------	--

協働事業名称	かわごえエコツアー		
協働事業の概要	市内の環境の現状と保全活動の大切さを学び自主的に環境活動に参加する人を増やすため趣旨に賛同した市民活動団体に協働委託して実施するものである。 実施日：令和4年12月7日（水） 行程：ウェスタ川越ー栗原造園ー関口邸（松江町）ー弁天横丁（喜多町）ー南古谷農園ー三つ又沼ビオトープーウェスタ川越 参加者20名		
協働事業の決算額	90,000円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	
事業の実施期間	令和4年6月15日 ～ 令和4年12月23日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行 政	団 体	平 均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35 点
------	------

## 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

### 【行政】

協働事業は、それぞれの団体（民間・行政）が持っている利点や得意分野を活かした事業ができる制度であると考えております。

今回のエコツアーに関しましては、団体側が有している企画・運営力やネットワーク、行政が有している広報力や市民からの認知度を一体化することによって、より高い次元での事業が実施できたものと考えております。

企画内容は、バランスよくバラエティに富んだ内容となっており、参加者からの感想をみても、質の高いよい事業が実施できたものと考えております。

### 【市民活動団体等】

かわごえエコツアーは環境活動に参加する人を増やす目的がありますが、最近の参加者が高齢化していて、歩くことに支障のある方も多くなっています。そのためツアーの参加者の環境活動参加の割合が伸びていません。平日の実施では時間に余裕のある年代も限られてきた感があるので、今後は、土、日曜開催の検討が必要なのではと思っています。

若い世代に川越の環境活動、ボランティア活動をアピールしていく必要があるのではと思いつつも、訪問先の負担を考えると、それなりに難しい所もあるので熟考の余地あります。

## 【川越市協働事業審査委員会における評価】

		総合評価
A	6	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。
B	4	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。
C	0	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。
		A

### 【事業に関するコメント】

- ・地域に対する視点の持ち方、また協力と物の再生が素晴らしいと感じた。
- ・伝統をどう生かすかをよく考えている。
- ・例年高い評価を受けいている事業であるが、今年度については、今後解決していくべき課題を発見し、それに取り組む意欲を見せている点を評価したい。
- ・ご指摘のとおり、多世代に対して訴求力のある事業を今後ともお願いしたい。
- ・立案・計画・実施まで手堅くスムーズに行えたと感じています。又、雨天の場合のコース設定やトイレ事情も考えてあり、参加者は安心したでしょう。
- ・参加者が高齢化しているとのことですが、今後は土日の開催で、親子一緒に開催できる様、プログラムを考えてほしいです。
- ・農業を大切に考えていると思う。ありがたい。

【事業に関するコメント】

- 産廃の施設を見学するのはどうでしょう。  
石坂産業(株) (三芳町) は、小学生から大人まで受け入れていますよ。
- 環境について、深く楽しく見学できます。
- エコツアーというと、ともすれば自然環境が主体であった。(森林体験、ピオトープ、湧水、遊水池等)  
しかし、今回は新たな視点で実施したものがあある。「自然と楽しむ街の象」と「リノベーションした弁天横丁」これらは今後のエコツアーの対象となる地点を示唆している。その一方で、参加者の高齢化の問題点についても言及している。
- 即効的な妙案がないのが現状なのか？さあ、担当課はどうする！
- 毎回人気のツアー、市民目線の企画が素晴らしいです。
- 対象表などの年代別に行政側がアイデアを出して発展した形をそろそろ事業として打ち出すべきではないのか。
- 担当課はこのツアーをベースに新しい事業を生み出してほしい。
- 農業を中心とした環境活動を実践され素晴らしいと思います。
- 協働事業として、行政、団体、農業施設の方が信頼し、活動されている様子が伝わってきました。
- 「土」というテーマを設定し行われた今回のツアーは、よく考え練られた企画で素晴らしいと思います。(提案時点では、訪問場所が不明だったが良い選択だと思います。)
- 色々課題はあると思うが、複数回開催にチャレンジして欲しい。その為にも、行政がもっとバックアップすべきだと思います。
- 自主的に環境活動に参加することを促す対象として、平日開催されることは、かなり限定的なものとなっている。当事業の本来の目的とは、マッチしてないのではないかと。当団体も課題認識されており、別の団体と協働するなど、視点を変える必要があるのでは。

# 協働事業評価シート（第三者用）

部課名	こども未来部 こども政策課	令和4年度
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク	

予算事業名	子ども・子育て支援新制度	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	--------------	--

協働事業名称	子育て情報誌作成		
協働事業の概要	川越市では子育て中の方やこれから子育てをする方が、安心して子育てができるよう、行政の制度、各種相談窓口、出産・子育てに関する情報などを紹介する情報誌を作成している。その中の20ページ分を市内の子育て中の市民と一緒に当事者の視点で必要な情報を掲載することとし、参加市民の募集や情報のとりまとめ、作成を行う。		
協働事業の決算額	150,000円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	
事業の実施期間	令和4年6月27日～令和5年3月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行 政	団 体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	4	4.5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	5	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34 点
------	------

## 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

### 【行政】

当事業は今回で21版目となる子育て情報誌の作成を行うもので、子育て当事者と行政双方の視点から子育て情報を掲載し、市内の未就学児のいる世帯へ冊子を配布することで、子育てを支援するものである。

掲載内容については、協働事業の実施により、市民活動団体の意見を取り入れながら、ニーズに合った情報を掲載することができている。

平成27年度版からは、編集印刷等を担当する民間事業者と協定を締結し、3者で事業を実施している。

これまでは、冊子による情報提供がメインであったが、WEB版で閲覧していただくページを作成し、より読みやすく情報が得やすいような冊子づくりを目指した。

このように、今後も市民団体と市が協力して作成することで、より必要とされている情報を必要な方法で届けられるよう情報発信を進めていきたいと考える。

### 【市民活動団体等】

発行は令和5年6月で、業者からの原稿は第1稿があがってきたところである。出来上がりが楽しみであるとともに、1人でも多くの市民に読んでもらえるような冊子としたい。

令和5年度版はコロナ禍の様子を見ながら対面での取材とZoomサロンの二刀流で実施した。

つばさ館の取材では、資源循環推進課の協力のもと、子連れ必須の社会科見学としたので「親子で環境について楽しく学ぶことができた」と感想をもらい、私たちにとっても実のある経験となった。

そのほかの取材では神明町保育園わくわく広場と高階児童館を取材し、子育て世代が広く利用しやすくなるようなページとした。

Zoomにて実施した川越まつりサロンでは、3年ぶりに川越まつりが開催されることを目前に、観光課職員に聞いた子育て世代が楽しめるお祭りポイントをサロンの中で伝授。また参加者どうし情報交換したことをもとに実際にお祭りに出向きSNSを使って写真でレポートしてもらうという新たな取り組みを行った。パパ座談会とイヤイヤ期サロンでは、日ごろ感じていることなどをまとめ、共感できたり、子育てのヒントとなったりするようなページとした。

川越市の保健師や助産師からは、こえどちゃんを元に母親たちへ地域情報の紹介ができるので大変助かっているという声があった。ある助産師からは、こえどちゃんは川越市のHPからも見られるが、支援者としてはページを開いてすぐに説明できる冊子の形が役立っているとの声があった。母親からも「外へでかけられないコロナ禍において手元において何度も読み、我が子と出かけられる日を想像してその日を待ちこがれていた」という声をもらった。

予算の削減で小児科・歯科医院・助産院の情報がQRコードからの読み込みになってしまったが、「つなぐ」役割が「こえどちゃん」にはあるのだと改めて思う。今後のあり方については担当課と協議していきたい。

## 【川越市協働事業審査委員会における評価】

			総合評価
A	9	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	1	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

### 【事業に関するコメント】

・変化の社会と言われるが何が変わったのか。

・これだけ継続的に手間のかかる事業を長期にわたり続けていること自体が素晴らしいことだと思います。今後とも市内でまだ発掘されていない（かもしれない）課題を見つけながら取り組みを続けて下さい。

協働事業名称 子育て情報誌作成

【事業に関するコメント】

- 行政の発行物という点で悩ましい部分があり、4番の評点を4としたありますが具体的に知りたい。
- 6で行政の評点が4になっていますが理由は何ですか。
- 昨年のアドバイス（webのサロン等）をもとに、更に進化しているところが素晴らしい。
- どんなテーマでパパとの相談室があったのかを知りたい。
- 第1子の子育ては不安ばかり、もっとPRしてほしい。産婦人科に置いたらどうか。
- 新たな取組み「つばさ館」の見学にあたり、担当課以外に関連部署と協力して実施できた事は協働事業の本来の姿である。非常に望ましい状況であったと思います。  
一方、役割分担や責任の明確の点で若干の相違があった点がちょっと気になりました。
- 資源循環推進課や観光課との協働もできたようで素晴らしい。
- 毎年、柔軟な発想で子育て世帯が興味を持つ内容にtryしているようである。川越まつりなど川越ならではの行事を味わいながら子育てできる。
- 子育ての情報誌として大変素晴らしく、単位家族の方々に心強い冊子と考えます。今後も子育て支援の冊子として幅広く活動される事を願います。
- 今後6月に発行だが、企画の内容、実行力共に過去から継続して優秀さを感じます。
- 今後の課題認識もしっかりしており、これからの改良・改善をよろしく願います。
- 情報発信方法に工夫があり、素晴らしい。

# 協働事業評価シート（第三者用）

部課名	市民部 男女共同参画課	令和4年度
記入団体名	川越市女性団体連絡協議会	

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	イーブンライフin川越		
協働事業の概要	男女共同参画社会の実現を目指し、市民への意識啓発と男女共同参画に対する理解の向上に協働して取り組むことを目的とし、 ①人権に関する研修会 ②人権デーにちなんだ講演会 ③男女共同参画アンケートを実施した。		
協働事業の決算額	189,750円	補助金額 (※提案型補助金の場合)	
事業の実施期間	令和4年6月20日 ~ 令和4年12月23日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	33.5 点
------	--------

## 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

### 【行政】

今年度は、新型コロナウイルス感染症等のため、事業自体が3年ぶりの開催となりました。課の中にも、事業の経験者が少なく、不安もありましたが、協働委託をした団体の方の経験を活かし、定期的な情報交換をしながら、計画的に目標に沿った複数の事業を実施することができました。

今年度は、講演会の他に人権に関する研修会と「かわごえ産業フェスタ2022」において男女共同参画に関するアンケート調査を実施しましたが、いずれの事業も多くの方に参加していただき、協働による市民目線の啓発活動の場が増えたことにより、より多くの市民に男女共同参画に対する理解の推進を働きかけることができたのではないかと感じています。

### 【市民活動団体等】

当会（川越市女性団体連絡協議会）の目的の一つに、男女共同参画社会を実現するために活動することを目的とするとありますので、これからも行政と協力して、様々な啓発事業を実施していきたいと考えております。

## 【川越市協働事業審査委員会における評価】

			総合評価
A	2	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	7	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	1	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

### 【事業に関するコメント】

- ・アンケートも十分価値のあるものである。
- ・単なる講演会に留まらず、様々な事業を実施したことは評価できると思います。一方で「協働」でやることの意義について、もう少し掘り下げていただきたいと感じました。
- ・参加者数は決して多いとは言えない状況であったようなので、例えばこうした点について市との協働を通じた活動にしていただければと思います。
- ・3年ぶりの開催でありながら、研修会や講習会の参加者が男性及び若い人の割合が低いように思える。
- ・前からの課題であったが、男性や若い人の参加者を増加させる工夫が見えない。
- ・最近では男女共同参画としてだけでなく、広い意見でLGBT等の問題も含まれるのではないのか？会計報告も見たい。
- ・産業フェスタで職場で男女の差がある。家庭でも男女差がある。ヤングケアラー、社会問題となっている。



## 【事業に関するコメント】

- アンケートを元に取り組んでほしい→ワークショップ。
- 山田氏の講演とアンケートの内容に関連性があるのかが、今一つ、わからないが男女共に生きやすい社会を作るには、若い方々の参加も必要です。（前回は伝えました。）
- 大学生等に参加してもらいたい。男性も増やしてほしい。
- アンケートの内容について、もっと掘り下げてほしい。講演会の参加人数を増やしてほしい。
- 可もなく不可もなく、事業遂行ができたという印象です。
- 3年ぶりの開催という事であるが、この事業自体は相当前から実施されており、この間、大きな変化があったという印象はない。
- 参加者が偏っている感じがあり、何か工夫が必要なのではないか？（内容が硬いものではあるが。）
- 今回の事業では、産業フェスタに出向いてその場でアンケートを実施した事は回収率も高く、評価できるものである。
- アンケートをとりに産業フェスタなど、外へ出かけて行き、一般の人に意見を聞く姿勢は素晴らしい。（昨年も同様に良い取り組みであった。）
- 行政の縦割りにこだわらずどんどん他の分野と交流していただきたいです。
- 長い間、市との協働お疲れ様でした。
- 山田火砂子監督をお招きした企画、素晴らしかったです。
- アンケートの取り方、結果の活かし方を担当課は今後の事業に活かしてほしい。
- 行政、団体が一体となって、協働委託事業に取り組みされた事は良かったと思います。
- 男女共同参画推進の為に、男性の方が気軽に参加できる企画も考えてほしいと思います。
- 当初提案通りの事業が実施されたと考えますが、それにとどまったのは少し残念です。
- 企画提案時の審査指摘回答にあった通り、若い人の取り込み、又、研修・講演に限らない新しい取り組みが必要だと感じます。（提案指摘に対する回答で表明された若者や男性へ、又、ディスカッションやワークショップ等、期待しています。）
- アンケートは何か活かされるのでしょうか。行政の取り組みに期待します。

# 協働事業評価シート（第三者用）

部課名	市民部 地域づくり推進課	令和4年度
記入団体名	NPO法人アートバーズフォーラム	

予算事業名	協働委託事業	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	--------	--

協働事業名称	こえど市民活動ネットワークプロジェクト	
協働事業の概要	<p>市内の市民活動団体等の情報発信および団体間のネットワークづくりを促進することで、市民活動の活性化並びに協働の推進を図る。</p> <p>（事業内容）</p> <p>1.市民活動団体の紹介動画作成及び市のHPに掲載。（3団体）</p> <p>2.市民活動団体によるオンラインミーティングの開催。（2グループ6団体）</p> <p>3.オンラインシンポジウムの開催。（Zoom参加4団体、YouTube参加12団体）</p>	
協働事業の決算額	350,000円	補助金額 （※提案型補助金の場合）
事業の実施期間	令和4年7月1日 ～ 令和5年3月31日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評 価 の 視 点	実施段階	評 点		
			行 政	団 体	平 均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	4	4
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	32 点
------	------

## 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

### 【行政】

コロナ禍でのシンポジウムを開催する手段として、オンラインで開催する方向で事前打合せを進めていった。団体については、政策企画課で募集した川越市100周年事業提案型協働事業の参加団体を対象とし、事業内容や今後の100年に向けての考え方等をシンポジウムの場で情報交換をした。

近年は、市内の市民活動団体等の情報発信をすることができても、横のつながりである団体間のネットワークづくりを促進することが難しかったため、今回のオンラインシンポジウムは、良い試みであったと考えている。

全体的に実施団体のスキルに頼みつつ市の要望を組み入れ、当初の企画を展開していただいたので、引き続き、団体間のネットワークづくりを促進できるような企画を考えていきたい。

### 【市民活動団体等】

初めての試みで、シンポジウムにはまだまだ遠いという反省点もあるが、皆様のご協力のおかげで、オンライン開催の良い面が色々と見えてきた。

今回100周年記念事業を行った中で4団体様を中心とした取り組みでは、川越の歴史文化や産物を題材に、小学生や高校生、障害者、芸術愛好家などの力を結集してみんなで絵画や唐棧のデザイン、音楽や動画、著作物などを制作コンテンツを共作したり、またアンケートにまとめることで、100周年事業の成果として、改めて「川越らしさ」の発信役立つのではないかと考えた。そこにはシニア層をはじめとした川越愛に溢れる方々の強力なサポートがあってこそその活動でもあり、今回のオンラインシンポジウムを行なって、皆さんが川越愛に溢れて活動をされていることは共通のベースなのだと思った。

地域愛に溢れた活動が各地にあることで、有機的なつながりを作っていくのではというところでお話は終わり、まだまだ議論をしたかったところではあったが、またの機会に繋がられたらと思った。

Youtube動画でのご参加の団体の皆様からもご意見を頂戴した。今回は参加団体のお名前を事前に公表しない方向に進めたので、とまどった団体もあったようだったが今後の課題としたい。

## 【川越市協働事業審査委員会における評価】

			総合評価
A	4	当該協働事業を実施したことで、地域課題の解決につながるなど、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	5	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	1	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0	協働事業としてうまく機能しなかった。	

### 【事業に関するコメント】

- ・現在、大切な問題。相互に分かち合うことの本当の意味を考えることができた。
- ・新しい事業ではあるが、年々軌道に乗って活発化している印象がある。特に参加する団体の幅が広がりつつあるように見えることは、更なる進歩を予感させるものになっていると思う。
- ・各団体が一堂に会してシンポジウムが難しい中、コロナ禍の中でオンラインによる様々な事ができたことは良かったと思う。
- ・事業の目的である市民活動団体等の情報発信及び団体間のネットワークづくりを促進することで市民活動の活性化並びに協働の推進を図るとあるが、本当に活性化が協働の推進に図ることができたのだろうか。疑問が残る。

**協働事業名称**

こえど市民活動ネットワークプロジェクト

**【事業に関するコメント】**

- もっと的を絞って、音楽、スポーツ、芸術、福祉等に特化した方が良かったのではないかな？
- 川越市と共に団体のつながりが強くなりました。
- 川越市協働の動画が沢山アップされていて、市民の理解を得られるようになっている。
- YouTubeのインタビューも良かったです。
- 各グループの川越愛を感じました。
- 試行錯誤の連続で大変であったと思うが、それなりの成果があったのだと思います。
- 改めて当初目的は何であったのかを省みて、それとズれていないかを確認する事が肝要ではないかと感じた。
- 担当課がZoomの中でもっと協働事業助成金のPRをしても良かったのではないかな。
- ネットワークづくりのその先に何をしたいのか担当課のvisionが大切であった。
- オンラインミーティングは、新しい市民への情報発信として今後期待大だと思います。
- 一昨年・昨年と各NPOの紹介やオンラインミーティングやシンポジウムを通じて川越での市民活動ネットワークがつながりつつある事を感じます。
- 市民活動側から考えると他の団体がどういう活動をしているのか、その情報は非常に貴重だと思います。本団体が今後、キーステーションとなり、情報を経由していけるような役割を期待します。
- 行政側に対して「川越市動画チャンネル」から外部サイトに直接入ってしまう形ですが、少なくともHPに各動画のテーマ名とリンクになっていれば探しやすいと思います。
- 事業の目的である市民活動の活性化、協働のきっかけの兆しが見えたと思います。動画の掲示については市のHPの整理が必要だと思います。とりあえず、掲示するという感じがあり、再生数が伸びないことで、各団体の紹介もいまいちな感じになるのは残念です。